

CASBEE-広島 (2010年ver.1)  
 (仮称)パークホームズ広島ボールパークタウン

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります  
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版  
 ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.1</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>3.2</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.4</b>	0.15	<b>2.8</b>	1.00			<b>2.9</b>
<b>1.1 騒音</b>		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40			
1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00			
2 騒音対策								
<b>1.2 遮音</b>		<b>5.0</b>	0.40	<b>3.6</b>	0.40			
1 開口部遮音性能	住戸のアルミサッシについては一部を除き遮音等級T-4を使用	5.0	1.00	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能				3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.20			
<b>1.3 吸音</b>		<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20			
<b>2 温熱環境</b>		<b>1.0</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00			<b>2.7</b>
<b>2.1 室温制御</b>		<b>1.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	1.00			
1 室温設定		1.0	0.63	-	-			
2 室温変動の抑制								
3 外皮性能	U=5.0(W/m <sup>2</sup> K)程度としている	1.0	0.38	3.0	1.00			
4 ゾーン別制御性								
5 負荷・気候制御								
6 個別制御								
7 稼働状況に応じた配管								
8 設備の保守								
<b>2.2 湿度制御</b>		<b>1.0</b>	0.20	-	-			
<b>2.3 空調方式</b>		<b>1.0</b>	0.30	-	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.5</b>	1.00			<b>3.4</b>
<b>3.1 屋光利用</b>		-	-	<b>4.0</b>	0.50			
1 屋光率	全住戸LD側の窓の面積を大きく確保	-	-	5.0	0.50			
2 方位別開口								
3 屋光利用設備				3.0	0.20			
<b>3.2 グレア対策</b>		-	-	<b>3.0</b>	0.50			
1 グレア対策								
2 屋光制御				3.0	1.00			
<b>3.3 照度</b>		<b>3.0</b>	0.38	-	-			
1 照度		3.0	1.00	-	-			
2 照度対策								
<b>3.4 照明制御</b>		<b>3.0</b>	0.63	-	-			
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.6</b>	0.25	<b>4.2</b>	1.00			<b>4.1</b>
<b>4.1 発生源対策</b>		<b>4.0</b>	0.60	<b>5.0</b>	0.63			
1 化学汚染物質	VOCについても放散量が少ない建材を全面的に採用している	4.0	1.00	5.0	1.00			
2 化学汚染物質								
3 化学汚染物質								
<b>4.2 換気</b>		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能				3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4 換気設備								
<b>4.3 運用管理</b>								
1 CO <sub>2</sub> の監視								
2 喫煙の制御								
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-			<b>3.3</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.8</b>	1.00			<b>3.6</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>		<b>3.0</b>	0.60	<b>5.0</b>	0.60			
1 広さ・収納性								
2 高度情報通信設備対応	Gbitクラスのブロードバンドが利用可能な環境を整備している			5.0	1.00			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00					
<b>1.2 心理性・快適性</b>		<b>3.0</b>	0.40	<b>2.0</b>	0.40			
1 広さ感・景観				3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画		3.0	1.00	1.0	0.50			
<b>1.3 維持管理</b>								
1 維持管理に配慮した設計								
2 維持管理用機能の確保								
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.2</b>	0.31					<b>3.2</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>		<b>3.0</b>	0.48					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		<b>4.1</b>	0.33					
1 躯体材料の耐用年数	住宅性能表示制度、劣化対策等級(構造躯体)等級3	5.0	0.23					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	外壁にタイルを使用	5.0	0.23					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.09					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:B、汚水:B以上、雑排水:B以上	5.0	0.15					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23					

2.4 信頼性			2.6	0.19		-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	-
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	-
3	電気設備		3.0	0.20		-	-
4	機械・配管支持方法		1.0	0.20		-	-
5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	-
3 対応性・更新性			3.0	0.29	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり					3.0	0.50	
1	階高のゆとり				3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ				3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00		-	
1	空調配管の更新性	宅性能表示制度、維持管理対策等級(共用配管 4-2)等級2	3.0	0.17		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.6
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		リバーフロント建築物等美観形成協議済	4.0	0.40		-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	エントランスに坪庭を設け全面Fixとし開放的空間とした	3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.40		-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20		-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50		-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化		ガス給湯器(エコジョーズ)を使用	5.0	0.40		-	5.0
4 効率的運用						-	-
4.1	モニタリング					-	
4.2	運用管理体制					-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.4	0.15		-	3.4
1.1	節水	キッチン・浴室シャワーヘッドに節水器具を採用	4.0	0.40		-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00		-	
2	雑排水再利用システム導入の有無					-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.5	0.63		-	3.5
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	高炉セメント(杭)	4.0	0.20		-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	グラスウール断熱吸音材・アスファルト防水材	4.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	内装材と設備が錯雑していない	4.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22		-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32		-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.68		-	
1	消火剤	ハロン消火材の使用なし	4.0	0.33		-	
2	断熱材		3.0	0.33		-	
3	冷媒		2.0	0.33		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		住宅性能評価の劣化対策等級3の規定を満たしている	4.9	0.33		-	4.9
2 地域環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25		-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.3	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		-	-		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
3	交通負荷抑制	適切な量の自転車置場・駐車場の確保	4.0	0.33		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮			2.5	0.33		-	2.5
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	1.00		-	
2	振動		-	-		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2	風害、日照阻害の抑制		1.6	0.40		-	
1	風害の抑制		1.0	0.70		-	
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3	光害の抑制		3.7	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告照明の使用なし	4.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	